

蓮沼庁舎の跡地利用について

1 地域課題プロジェクト検討報告

市では地域振興に係る四つの重点課題プロジェクトが平成 20 年 6 月に設定され、その重点課題の一つとして「道の駅「オライはすぬま」と蓮沼海浜公園を活かした観光振興」について経済環境部において調査、検討を開始しました。

そして平成 21 年 1 月に蓮沼地域の商工、観光、農業関係者を中心とした重点プロジェクトに係る懇談会を設置しました。この懇談会では、共通認識を深めるため、観光に係る現状認識や課題と今後の方向性を確認し、その後、「オライはすぬま」を中心とした観光振興について意見を集約し、平成 21 年 7 月に意見書をまとめて提出しました。

※意見書における蓮沼出張所の関連部分

【地域コミュニティ（蓮沼出張所の活用）】

- ・蓮沼出張所の 1 階部分を「九十九里浜」をメインテーマとして山武市を紹介するギャラリーとし、2 階部分は山武市の産業会館として、商工会事務所、観光協会事務所、漁業組合事務所として活用
- ・出張所駐車場を利用して、定期的な朝市を開催し、蓮沼地域の生活者間及び消費者との交流の場とする。
- ・上記により、蓮沼中央会館の一部を蓮沼出張所とする。

【オライはすぬまの活用】

- ・オライはすぬまの拡張及び癒しの空間の設置
- ・オライはすぬまを九十九里地域の情報交流拠点として位置付け、情報発信機能を充実させる。（観光コンシェルジュ等の設置）

2 津波避難施設等整備基本計画策定について

東日本大震災は本市へも未曾有の津波被害をもたらしました。この震災を教訓として、市では単なる復旧ではなく、「新しい地域社会の創造」という観点から「人と人のつながり、安心して安全な災害に強い地域」を目指して「山武市復旧・復興計画」を平成 24 年 2 月に策定しました。

この復旧復興計画等を基に、調査検討を進め、津波避難施設整備を中心とする今後の復旧・復興事業及び防災対策事業の指針となる津波避難施設等整備基本計画を本年度中に策定します。

(1) 避難ルートの確立

①避難道路整備事業

避難の核となる幹線道路を避難路として選定を行い、改善点等を整理します。

②避難誘導看板の設置事業

円滑な避難に向けての避難看板等の設置場所及び交通ルールの検討を行います。

(2) 津波避難施設等の整備

①津波避難施設整備事業

津波からの避難に際し、自力で遠方までの避難が困難な者が多数存在する地域において、津波避難タワー等の建設を検討します。

②津波避難施設機能付加型施設

津波避難施設としての機能も充足し、かつ、地域の発展に寄与する施設の基本計画を策定します。

③防災備蓄施設

今後の備蓄に関しての拠点となりうる防災備蓄施設について設置場所等を検討します。

3 蓮沼庁舎の跡地利用について

【津波避難施設機能付加型施設（再掲）】

津波避難施設としての機能も充足し、かつ、地域の発展に寄与する施設の基本計画を策定します。

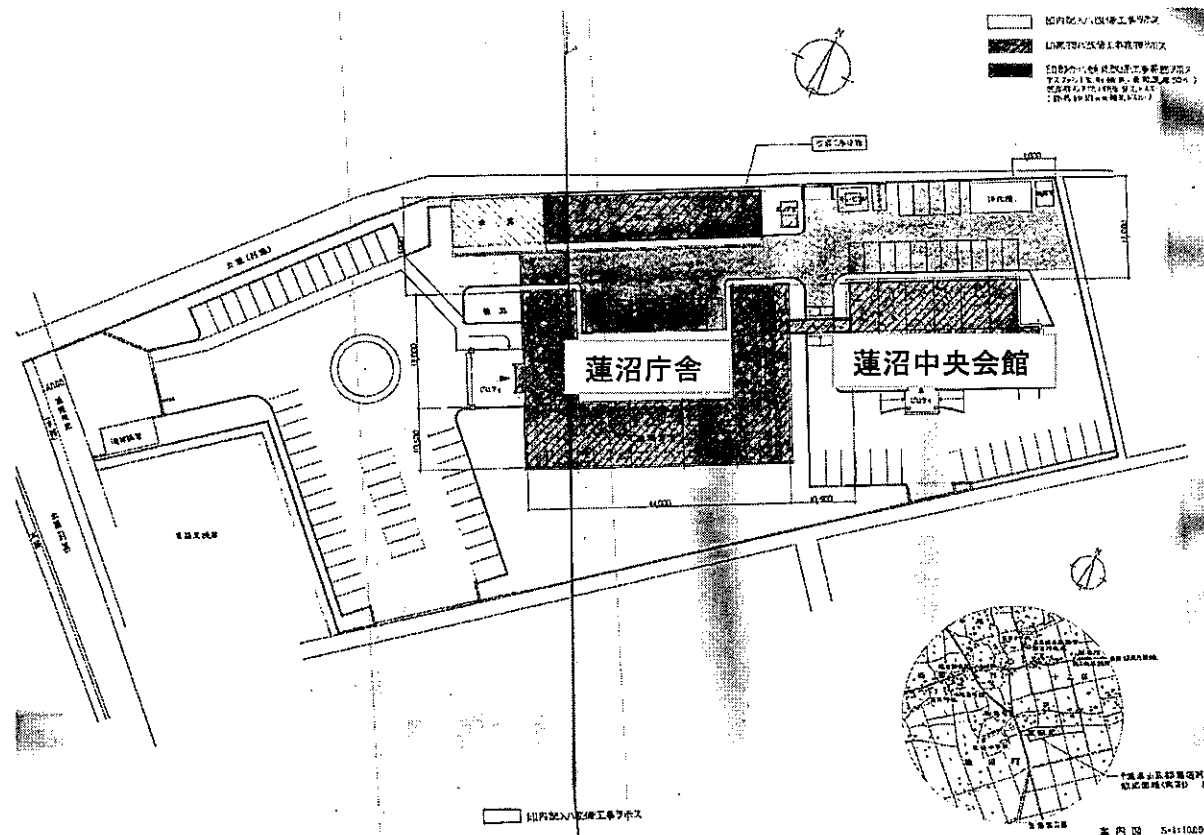
※検討にあたっての主な視点

- ・地域住民・観光客の安全確保のための津波避難施設
- ・オライはすぬまと連携した観光スポット的側面からの地域経済の活性化
- ・蓮沼コミュニティの中心的な役割

4 蓮沼庁舎及び蓮沼中央会館の現状について

別紙のとおり

※海までの直線距離 1.5km 海拔 1.9m 浸水深 3.6m



蓮沼庁舎、蓮沼中央会館の現状

施設名称	蓮沼庁舎(S52竣工)	蓮沼中央会館(S52竣工)
構造・規模	RC造 2階建て	RC造 2階建て
敷地面積	6,144㎡(公簿)	2,916㎡(公簿)
延床面積(建築面積)	1,878㎡(856㎡)	933㎡(466㎡)
建築年月	昭和52年(1977年)10月	昭和52年(1977年)10月
施設概要	1階:ホール、事務室(蓮沼出張所)、書庫・金庫他7室 2階:第1会議室・第2会議室、和室、議場他5室	1階:保育室・学習室・談話室 2階:実習室・大集会室
施設利用者数		H21実績:2,108人 H22実績:1,653人